

「とっこうやく特公約」の実現に取り組みます。

住みよい秋田市をつくる

就任にあたって

秋田市長 佐竹敬久



就任後の記者会見で

佐竹市長の横顔 昭和22年11月15日、角館町生まれの53歳。角館高校、東北大学工学部精密工学科卒。昭和47年に秋田県庁に入庁し、工業振興課長、地方課長、総務部次長などを歴任、平成9年に県庁を退職。趣味は料理、読書、カラオケ、スキー、ゴルフ。「計画は緻密に、実行は大胆に」が信条。

秋田市長選挙の結果

当選	<small>さ たけ の り ひ さ</small> 佐竹敬久氏	47,064票
	<small>ほ づ み もとむ</small> 穂積志氏	44,776票
	<small>まる の う ち くる み</small> 丸野内胡桃氏	33,671票
	<small>た な か れ い こ</small> 田中玲子氏	7,510票
	<small>あ か ぎ の ぶ ひ さ</small> 赤木信久氏	7,172票

石川錬治郎前市長の辞任にともなう秋田市長選挙は7月8日(日)に行われ、第17代秋田市長に佐竹敬久氏が初当選しました。佐竹市長は、県都秋田市の発展のため、向こう4年間、秋田市政の運営に取り組みます。

今回の市長選挙の投票率は、57.40%(男57.02%、女57.73%)。前回平成10年5月の市長選挙は42.49%(男42.49%)でしたから、それを14.91%(男14.91%)上回りました。

当日有権者数は247,063人(男115,453人、女131,610人)でした。



7月11日、市役所に初登庁する佐竹市長